



お話しいただいたのは  
近藤 嘉人先生

vol.181

# こんどうせんせいの 「こどもはスゴイ!」



## 沁みる場所

### エピソード1

診療室の見える待合室の一角に、レールを敷いた汽車のおもちゃを置いています。赤ちゃんから小学生まで、幅広い年代の子どもたちが自由に遊べる人気のコーナーです。

そこで遊んでいた6才の男の子。すぐそばの診察台で、フッ素を塗られている1才の赤ちゃんの姿が目にとまりました。歯科衛生士、受付保育士が絵本をひろげ読み合いながら、赤ちゃんの気持ちを落ち着かせています。

すると、男の子はおさるさんのぬいぐるみを抱きかかえ、その手を振りながら「がんばれ〜」と応援してくれました。

その後、男の子はいざ自分の名前が呼ばれると、緊張からかその場に座り込んでしまいました。たが、ドキドキしながらも治療を頑張りました。そして治療が終わると再び汽車のおもちゃコーナーにやってきて、



先ほどとは別の赤ちゃんが健診を受けているのに気づき、さつきより、もつとくしゃくしゃの笑顔で「がんばれ〜」とぬいぐるみの手を振ってくれたのです。その優しさが私たちの心に沁みました。

### エピソード2

4才の男の子。治療が始まるまでは「イヤだ〜! ママがいく〜! 帰る〜!」と声をあげていました。が、いざ始めるとすんなりと終わり、汽車のコーナーにやってきました。2才の女の子が先に遊んでいます。男の子のママは、女の子からおもちゃを取りあげたり、押しつけたりしないかと心配そうに見ています。以前そういう光景を見たことがあったからです。女の子のママも少し不安そうな表情。2人のママは、少し離れた場所で見守っていました。

「はいしや、がんばったの?」男の子は汽車を動かしながら女の子にたずねます。自分の治療の前に、健診を受けている女の子の様子を見ていたのです。「そんなことないよ」女の子は、健診のときはまったく違う落ち着いた口調で答えました。そして、頑張った共通体験があるからか、2人はそのまま仲良く遊んだのです。どうなることかとハラハラしていたママたちは、いい意味で期待を裏切れ、思わずクスッと笑っ

ていました。

### 応援してるよ!

人は他者と関わりを持つことで、社会性を身につけて成長します。待合室は、家では見られない子どもたちの成長に気づくことができる場所です。私たちはそこで見つけた子どもたちのやさしい姿を「ホスピタリティの宝箱」と呼ぶシートに書き留めて、スタッフ全員が共有できるようにしています。心あたたまるエピソードを、あなたがどう!

### 情報クリップ

『絵本の日アワードin FUKUOKA』に全国から応募いただいた、心あたたまるエピソードを集めた本ができました!『絵本はホスピタリティの宝箱 エピソード33』全国の書店で絶賛発売中です!

## こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科  
診療時間 9:00~18:30(昼休み12:30~14:00)  
[休診]木曜・祝日

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F  
☎092(551)8080  
ホームページ <http://kodomonoshika.com>

日曜日も  
診察して  
います

